

小学校国語科における文学的文章の読みの深さの評価と指導法

教育実践コース 在籍番号 U20C214D 名前 平野 俊郎

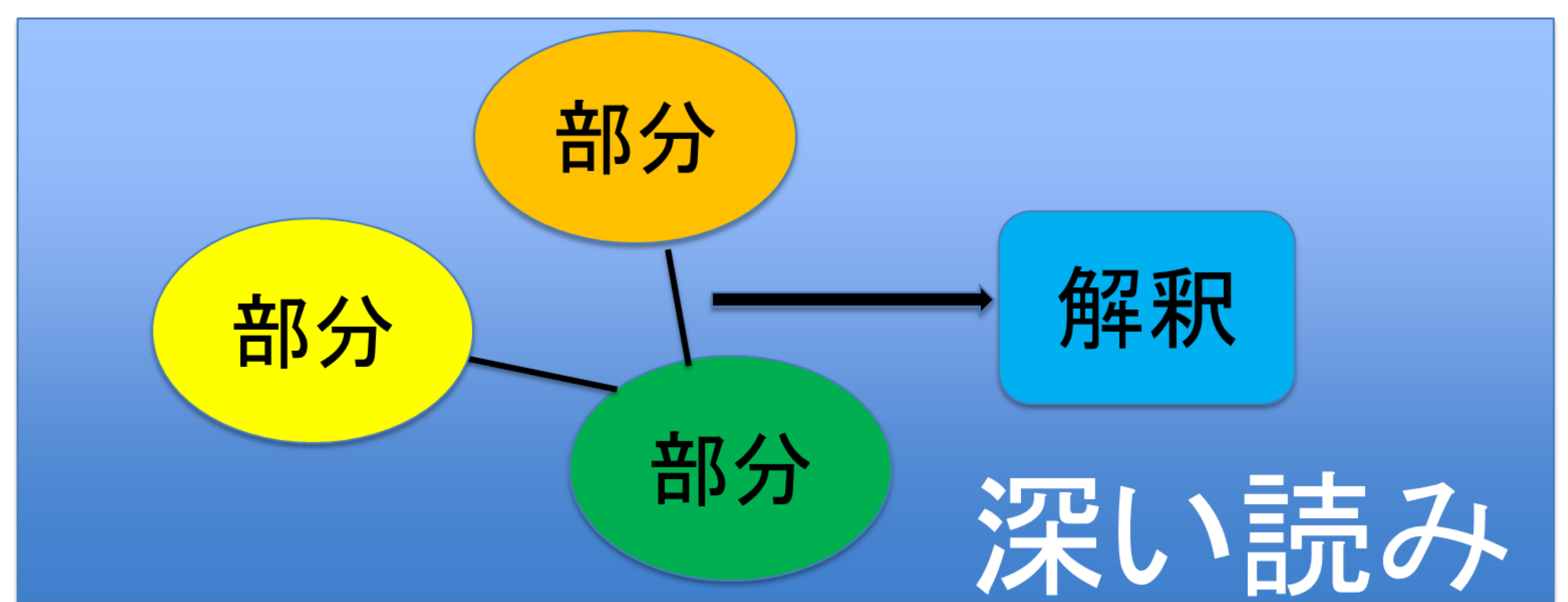
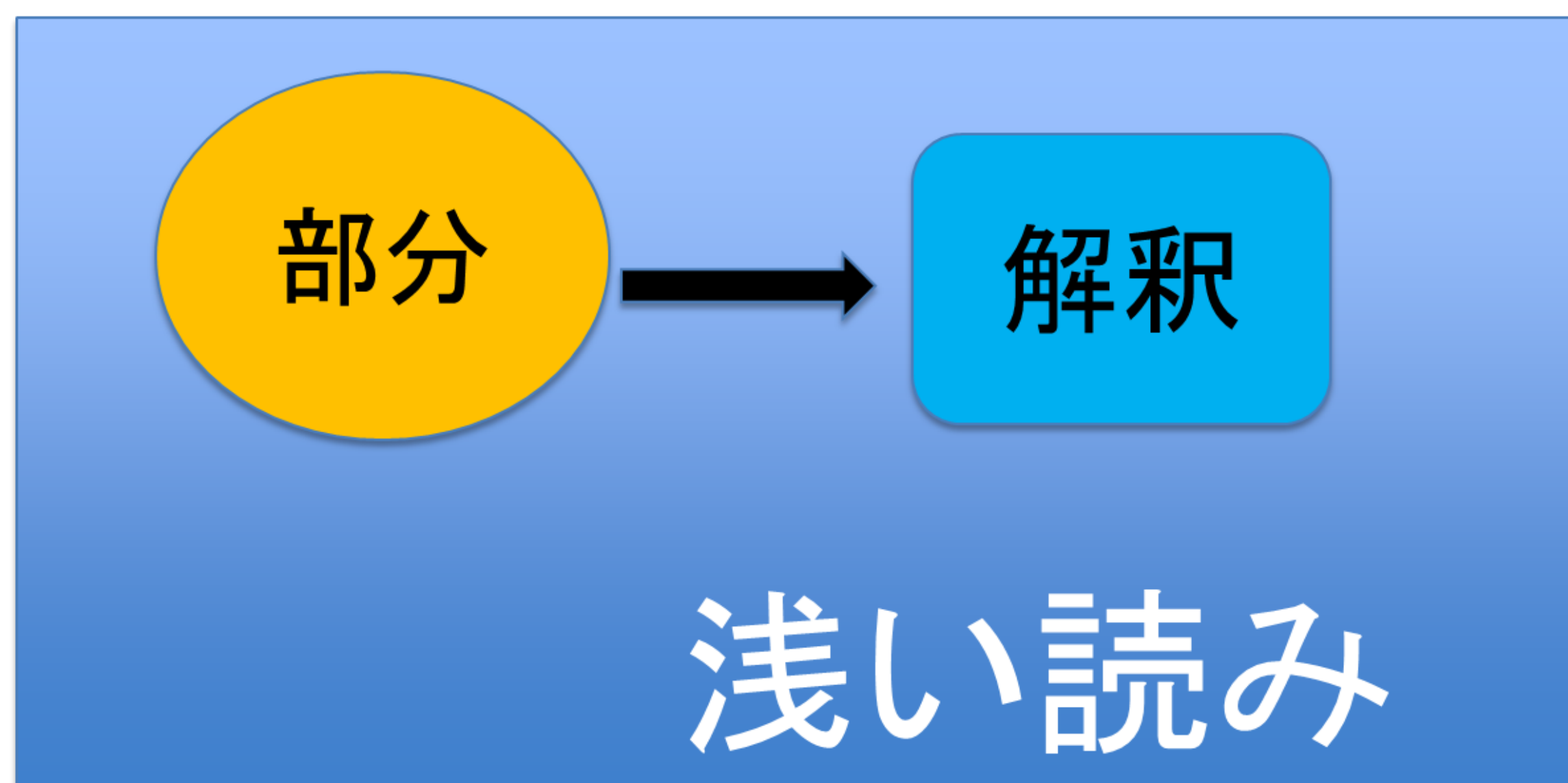
国語で物語文の授業で「深い読み」「読みが深まった」とよく言うけど……どうということなのか？

読むことに「深い」も「浅い」もあるのか？子どもたちの読みの解釈を聞いていると、「深いな」と感じることは確かにある。でも、なぜそれが「深い」と感じたのかは、説明できない。結局、子どもの「読み」を感覚的に評価していることが多いのではないか。

「深い読み」「読みが深まる」とは、どのような状態なのか？そして、それはどのように測れるのか？どのように指導すれば読みは深まるのか？これらのことを明らかにしていくことが、本研究の目的である。

○文学的文章を深く読む姿とは？

文章の部分と部分、部分と全体など、複数の部分を関係付けて自分の解釈をつくる姿



○深く読む姿をどう評価するのか？

文学的文章を読むことの評価に「ルーブリック」を活用！！

ルーブリックとは……

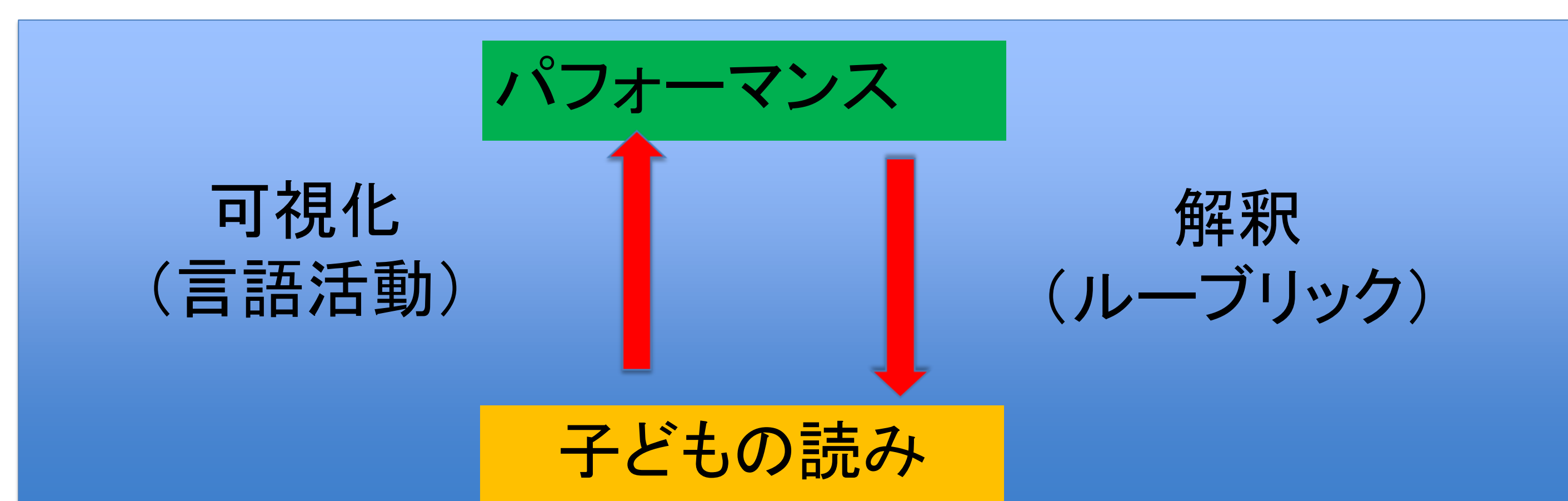
子どものパフォーマンスの質を段階的に評価するための評価基準表(松下, 2007)

| | 評価点 | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| A | A-4 | A-3 | A-2 | A-1 |
| B | B-4 | B-3 | B-2 | B-1 |
| C | C-4 | C-3 | C-2 | C-1 |

評価項目 (A, B, C) | 評価基準 (4, 3, 2, 1)

●なぜ、「読むこと」の評価にルーブリックなのか？

1. 子どもの「読み」は見えにくい



2. 子どもの「読み」には段階がある

例えば 2年 国語「お手紙」

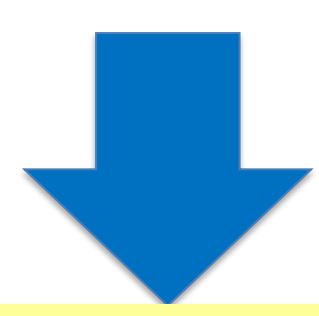
課題「どうしてがまくんも、かえるくんも二人とも幸せなのか。」

- ① がまくんの幸せの理由を捉えられている子ども
- ② かえるくんの幸せの理由を捉えられている子ども
- ③ がまくんとかえるくんの両方の幸せの理由が捉えられ、違いが分かる子ども
- ④ がまくんとかえるくんの両方の幸せの理由が捉えられ、違いだけでなく、共通点も分かる子ども

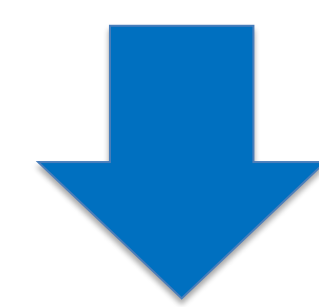
●どんなルーブリックが必要なのか？

先行研究を調べて見ると、単元ごとにルーブリックを作成している。

→毎回、毎回作成するのに手間がかかる。単元と単元の系統的なつながりは？



「読むこと」という大きな枠でのルーブリックが必要(「低学年」)



低学年「読むこと」(文学的な文章)のルーブリック

| | A | B | C |
|---|--|--|--|
| 構造と内容の把握 ※書かれている内容を正確に理解する。 <正しく> | ・時・場・登場人物・場面の様子・出来事・結末などの内容を細かくとらえている。 | ・時・場・登場人物・場面の様子・出来事・結末など、内容の大体をとらえている。 (誰が、どうして、どうなったか) | ・時・場・登場人物・出来事・結末・場面をとらていない。 |
| 精査・解釈 ※書かれていることを基に、書かれていないこと(気持ち・行動の理由等)を想像すること <豊かに> | ・複数の登場人物、複数の場面、複数の登場人物の言動をもとに、登場人物の行動の理由、気持ち、気持ちの変化を想像して読んでいる。 | ・場面の様子(時間、場所、周囲の風景、登場人物)、登場人物の言動(会話・行動)をもとに、登場人物の行動の理由、気持ち、気持ちの変化を想像して読んでいる。 | ・場面の様子、登場人物の言動をもとに、登場人物の行動の理由、気持ち、気持ちの変化を想像して読んでいる。(根拠と結びつけずに勝手な想像で読んでいる。) |
| 考えの形成 ※自分の知識や経験と結びつけて、自分の考えをもつ。 <つなげて> | ・文章の内容を自分の知識や経験と結びつけたり、友だちの考えと比べてたりしながら解釈して、文章の内容に対して自分の感想をもっている。 | ・文章の内容を自分の知識や経験と結びつけて解釈し、文章の内容に対して自分の感想をもっている。 (自分と登場人物を比べる) | ・文章の内容を自分の知識や経験と結びつけて解釈せずに、自分の感想をもっている。 |
| 共有 ※自分の考えを分かりやすく表現し、友だちの考えを理解し、認め合う。 <広げる> | ・文章を読んで感じたことや分かったことを友だちに伝えるように表現し、自分の考えと比べながら、友だちが分かったことや感じたことを理解している。 | ・文章を読んで感じたことや分かったことを友だちに伝えるように表現し、友だちが分かったことや感じたことも理解している。 | ・文章を読んで感じたことや分かったことが友だちに伝えるように表現できない。また、友だちが分かったことや感じたことも理解していない。 |

●ルーブリックを評価に活用した実践～2年国語「わたしはおねえさん」～

| | A | B | C |
|-----------------------|--|---|---------------------------------------|
| 構造と内容の把握 2・3時間目で評価 | すみれちゃんの変化、登場人物、大きな出来事、結末を捉えて、あらすじを書いている。 | 登場人物、大きな出来事、結末を捉えて、あらすじを書いている。 | 登場人物、大きな出来事、結末を捉えて、あらすじを書けていない。 |
| 精査・解釈 7・8時間目で評価 | すみれちゃんの変化を捉え、その理由を妹のかりんちゃんの変化もふまえて理解している。 | すみれちゃんの変化を捉えているが、妹のかりんちゃんの変化までは理解していない。 | すみれちゃんの変化が変化したことを捉えられていない。 |
| 考えの形成 9時間目で評価 | お話を読んで心にのこったところについて、その理由をすみれちゃんの行動と自分とを比べながら書いている。 | お話を読んで心にのこったところについて、その理由をすみれちゃんの行動に着目して書いている。 | お話を読んで心にのこったところについて書いている。 |
| 共有 10時間目で評価 | 友達の感想を読んで、自分との共通点や違いに気づき、感じ方や考え方を認めたコメントを書いている。 | 友達との感想を読んで、感じ方や考え方を認めたコメントを書いている。 | 友達の感想を読んで、感じ方や考え方のよさについては、コメントを書いている。 |

どう授業が変わったのか？

- 単元の見通しをもてる。
評価は指導と対の関係
 - 次の時間の授業が変わる。
 - Aの子どもが増える。
Cの子どもは減る。
- 7時間目 A 35% C 39%
8時間目 A 68% C 16%

○まとめ

文学的文章の読むことに「ルーブリック」を活用することで、子どもの読みを今までよりも客観的に(どうしても主観は入るが)評価し、段階として捉えることができるようになった。

ルーブリックの妥当性を高めるためにも、複数の単元で実施し、複数の教員でルーブリックを作成し、評価していく必要がある。